

令和元年度 乳幼児教育振興特別事業  
全幼研ワクワクプロジェクト（神奈川） 報告書

「幼児期にふさわしい生活の展開」②

提出日 令和2年2月25日

支部長名 志村雄治

- 実施日 令和元年6月10日（月）  
時 間 午後4時 ～ 5時30分
- 共 催 なし
- 会 場 横浜ジャスト 1号館 8階 会議室（3号室）
- 参加者 会員28名・会員外7名（計 35名）
- 講 師 所属・職名 東京家政大学子ども学部子ども支援学科・教授  
名前 岸井 慶子 先生
- 内 容  
上記の岸井先生の「幼児期にふさわしい生活の展開」②というテーマの講演で、サブテーマが「生活や遊びを通してはぐくむもの」であった。  
内容については、  
1. 身体的側面への注目 2. 尊敬・尊重を基盤にした関係作り 3. 「総体」としての保育をとらえる 4. 「遊び」の再考（「知」を育てる保育）を通して保育に「よろこび」と「やりがい」を見出す。
- まとめ（成果と課題）  
保育者が、こどもたちの生活や遊びを通して幼児期にふさわしい保育を展開していくにはどうしたら良いのかについて、ご自身の実践の中からわかりやすくお話しして頂き、参加者は自分の保育を振り返りながら、とても良い研修になったと思う。特に今回は、参加者との応答を重視した岸井先生の進め方により参加者一人一人が課題意識を持ち、主題に迫ることができた。「私も皆さんの意見から学びたい」という言葉は、幼児教育の質向上を目指す者として深く共感し、明日への意欲を得た講演会になった。  
できれば、来年も講演をして頂きたいと考えている。

○上記の内容を含め、A4版2枚程度の報告書にまとめてください。